2.7 第二次スクリーニング優先度評価（手法）

基礎資料整理および現地踏査の結果を踏まえ、ガイドライン1-82に示された優先度評価フロー（図 2-4）に基づく優先度評価指標、変状の程度や連続性、優先度評価指標の該当数、被害規模ランク（表 2-2）等をもとに、第二次スクリーニング計画における優先度の評価手法について検討した。

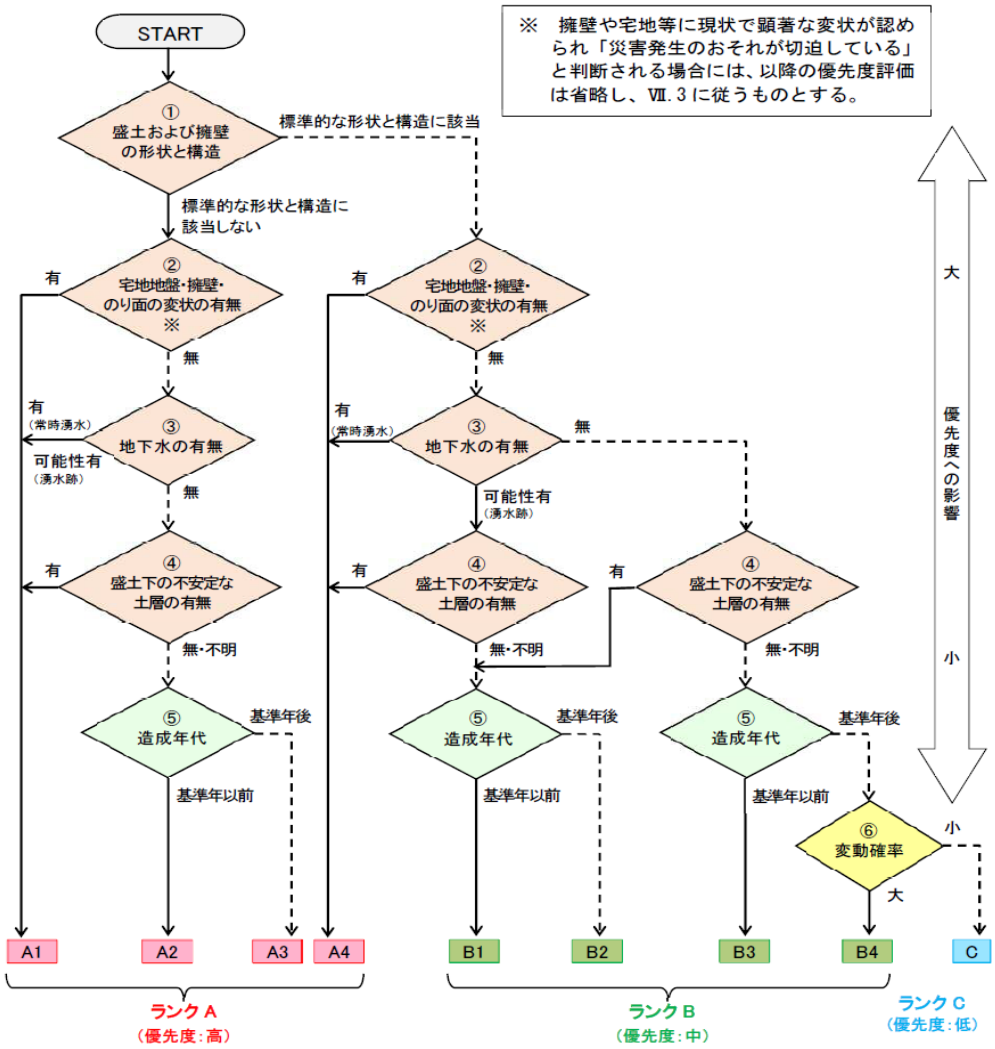

図 2-4 優先度の評価フロー（ガイドラインより引用）

表 2-2 被害規模ランクの評価例（ガイドラインより引用）

		保全対象の公共施設等の数		
		2つ以上該当	1つ該当	該当なし
保全対象の住宅数	○戸以上	a	b	c
	10～○戸	b	c	d
	1～9戸	e	e	e

被害規模の大きさ	大 ←→ 小				
被害規模のランク	a	b	c	d	e
滑動崩落が生じた際の被害規模	非常に大きい	大きい	中程度	やや小さい	小さい

※住宅数の区分や保全対象数の基準は、各地方公共団体で判断してよい。